

道徳科(生活単元学習)学習指導案

特別支援学級 名
指導者

1 主題名 互いのよさを認め合う

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

B-(10) 相互理解・寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。
----------------	---

人の考えや意見は多様であり、それが豊かな社会をつくる原動力にもなる。そのためには、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。異学年との交流の場では、特に友達と違った考えや意見が出ることが多い。自分の気持ちや考えを相手に分かるように伝えることの大切さや、相手を理解し自分と異なる意見も大事にすることの大切さに気付けるように指導したい。

(2) 児童の実態について

本校特別支援学級は、4学級に21名の児童が在籍している。支援学級では、基礎・基本を身に付けられるように国語科と算数科の学習を進めている。個別学習はもとより異年齢小集団のよさを生かしながら、自立活動・生活単元学習も含めて学校生活全般の学習を進めている。

友達との好ましい距離感を保ったり、自分の気持ちをうまく表現したりすることが苦手な児童が多いため、よりよい関係を築くには担任の支援が欠かせない場合が多い。児童一人ひとりが望ましい関わり方の体験を重ねながら、それぞれが成長していけるように児童の実態に合わせて活動の幅を広げ、みんなで一緒に楽しめる活動を計画する。

21人全員で楽しく活動することを相談する中で、みんなで一緒に身体を使って活動をしたいという意見が多く出た。今年オリンピック・パラリンピックが開催されるということもあり、いくつかの競技を紹介する動画を子どもたちと見た。今の自分たちはどんなことならできるか考える中、パラリンピックの競技のひとつである「ボッチャ」に挑戦してみることとなった。お互いのよさを認め合い、学び合うことを目的として行いたい。この活動が交流学級での友達との関わりにも生かされることを願い、本主題を設定した。

(3) 教材について

児童全員が一緒に身体を動かすことを体験でき、チームワークを意識して作戦を練って活動ができるようにする。また、身体に障がいのある人がスポーツを楽しんだり、パラリンピックで活躍していることへの理解を深めたりすることができるようにするを通して、互いに認め合い、理解しながら高め合う関係を築こうとする態度を育てたい。

3 ねらい

「ボッチャ」を通して、状況に応じたコミュニケーションがとれるようにするとともに、活動を通じて友達と関わったり、達成経験を味わわせたりするを通して、自分の考えや意見を相手に伝え、相手のことを理解し、互いに尊重しようとする態度を育てる。

4 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 本時のめあてを話し合う。	○今日のスケジュールを見ましょう。 ○めあてを達成できるようにがんばりましょう。 ○1人ずつめあての発表をします。 ・ペアごとで挨拶しよう。 ・ペアのチーム名を決めようね。	○ねらいとする価値にかかわる意義がもてるようにする。 ・スムーズに授業を進めるために、ペアは事前に知らせてお

展開	2 練習タイムを決められた場所です。	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のよい投げ方を見つけよう。 ・ジャックに向かってまっすぐ投げられてるね。 ・上投げが上手いな。 ○投げ方のコツを伝え合おう。 ・もっと力を強くした方がいいよ。 ・うでをしっかりふるといいよ。 	<p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○決められた場所でペア練習をする。 ○今までの活動を振り返り、どう転がるか把握する。
	ペアで協力して作戦を立てよう。		
	3 ペアに分かれて、作戦を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで作戦カードを使って相談しよう。 ○作戦カードからゲームで使いたいコツを決めよう。 ・このカードを使おう。 ・この作戦でがんばろうな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ペアで協力して、よりよい作戦が立てられるように声かけをする。
4 ポッチャの試合を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ポッチャの試合をしてみよう。 ・ジャックをねらってね。 ・相手のボールに当ててはじこう。 ・作戦カードを見ながらやってね。 ○ペアの友達にアドバイスをしよう。 ・いいコースにねらえてるよ。 ・椅子を動かしてみたら。 ○勝ち負けにこだわらずにやってみよう。 ・両方がんばれ。 ・あの投げ方をまねしたいな。 ・あのペアは良い声かけができてるな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○対戦相手は事前に決めておく。 ○みんなが一生懸命に取り組めるようにする。 ○試合に出ていないペアは、応援をする。 ○友達のよさと自分のよさの両方に気付けるようにする。 ○互いのよさに気付き、活動に積極的に参加することができるようにする。 ○互いの発表を聞き合い、一人ひとりのよさに気付かせる。 ・自分のめあてが達成できたか確認する。 	
5 活動を通して学んだことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ポッチャの試合をして、ペアと上手くできたところを発表しよう。 ・ペアで協力することができた。 ・○○さんは、いいアドバイスができていた。 ・勝っても負けても楽しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの発表を聞き合い、一人ひとりのよさに気付かせる。 ・自分のめあてが達成できたか確認する。 	
終末	6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてを達成することができましたか。めあてカードにシールを貼りましょう。 ・今日は、たくさんペアにアドバイスができました。 ・ペアと協力して楽しく活動しました。次のポッチャ廻戦が楽しみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの生活への意欲が高まるように、児童の頑張りを認め励ます。次時への意欲付けをする。

5 評価の観点

- ・互いのよさに気付くことができたか。
- ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解しようとすることができたか。